

ESG担当役員メッセージ



常務執行役員 グループESG担当
瀬尾 明洋

社会のサステナビリティに関する課題解決を推進力に 自社の競争力強化と価値創造を実現する

社会のサステナビリティとIHIグループの 競争力強化のために、新しい市場を創る

創業以来、IHIグループはインフラや産業に関わる社会課題に向き合い、技術をもって解決してきました。一方で、世界が直面する気候変動、生物多様性、人権などの社会課題はますます

深刻化し、解決するための難易度が上がっています。これらの課題は、企業活動の在り方や社会との関わり方を根本から見直す契機となっています。IHIグループにおいても社会課題を捉え直し、サステナビリティを経営の中核に置き、それを競争力とする企業へ変革を続けています。IHIグループの中核にあるサステナビリティとは、「自然と技術が調和する社会」の実現を目指

すことです。「気候変動への対策」「人権の尊重」「多様な人財の活躍」「ステークホルダーからの信頼の獲得」をマテリアリティとして特定し、企業価値の向上を追求しています。

IHIグループの事業は、気候変動やエネルギー効率化、インフラ開発など社会のサステナビリティに直結する社会課題の解決を本業としている特徴があります。その競争力をさらに高めるため、私たちは「バリューチェーンの創造」に注力しています。製品やサービスが互いに価値を高め合う「価値連鎖」を実現し、キーマン（核となる技術や製品）を中心にエコシステムを構築することで、新しい市場を創出します。IHIグループがバリューチェーンを創造することは、社会課題解決とIHIグループの競争力を両立させる仕組みです。ステークホルダーと共に、社会課題の解決に沿った新しい市場の形成を主導することで、サステナブルな社会の構築と企業成長を実現します。

環境負荷低減の要請を事業機会と捉え、 社会とIHIグループの持続的な成長に挑む

IHIグループは「気候変動への対策」を事業の中心に据え、環境負荷を低減する製品・サービスを提供し社会のサステナビリティに直接貢献しています。例えば、工場の省エネ技術や自動化による効率化は、製造業全体の環境負荷を軽減するだけでなく、お客さまのコスト削減にも寄与しています。また、航空エンジンの燃費向上技術は、航空業界のCO₂排出量削減に直接的

ESG担当役員メッセージ

な効果をもたらしており、持続可能な航空燃料(SAF)や航空機の電動化の開発と併せて、航空産業全体の脱炭素化を加速させています。さらに、アンモニア燃焼技術など、グリーンエネルギーの分野では、革新的な技術を通じて産業界全体の脱炭素化を支えています。これらの技術は、経済価値と環境価値を両立させる新たな価値を提供し、「気候変動への対策」を加速させています。

ESG担当役員としての役割の一つは、IHIグループの製品やサービスが環境負荷低減に資するものであること、そしてそれを普及させることがESG経営の実践そのものであることを従業員に実感してもらうことです。自身の業務が社会のサステナビリティのための課題解決に貢献していることを、従業員が実感できるように意識改革に取り組んでいます。従業員との対話の中で、製品の競争力について、悩みを聞くことがあります。その中には、環境負荷低減の価値がお客さまに十分認められていないケースが散見されます。性能向上による生産性向上だけではなく、性能向上がもたらす環境負荷低減の価値についても分析し、それをお客さまに伝え、認めていただく仕組みづくりが重要であると伝えています。

DE&Iを推進することで、心理的安全性を高め、競争優位性を高める

マテリアリティに「多様な人財の活躍」「人権の尊重」を掲げ、従業員が今すぐ取り組むべきこととして「DE&Iを自分事にする」という重点施策を推進しています。IHIグループが、航空エンジン事業へのリソースシフトや事業ポートフォリオの組み替えを競争力につなげるとともに、イノベーションを起こし続ける企業になるためには、多様な人財や事業間のシナジーを最大限に生かし、柔軟で適応力のある組織を構築することが重要です。

DE&Iを自分事にすることは、個々の意識と行動が変化し、組織全体の文化が変わるきっかけとなります。自分事として捉えることで、共感と主体性が生まれ、無意識の偏見を解消する動きにつながります。また、心理的安全性の高い職場環境を構築するためには、リーダーシップの育成、オープンなコミュニケーション、メンタルヘルスのサポート、公正な評価制度、チームビルディングといったほかの取り組みも実施する必要があります。これらの取り組みも併せて人財担当役員と連携し積極的に進めています。従業員が多様な個性を生かせる環境を整えることは、ESG担当役員としての私の重要な使命の一つです。

ステークホルダーからの信頼の獲得が持続的な企業経営を支える

マテリアリティは、定期的に更新する必要があると認識しています。更新の際に重要なことは2つあります。1つ目は、経営理念と合致し、変化する社会の要請に貢献できるものであること。2つ目は、当社グループの事業競争力を強化できること。これらを両立するものがマテリアリティとなるべきと考えています。社会と自社の持続的成長を両立し、ダブルマテリアリティの考え方にに基づき、マテリアリティの特定につなげていきます。

IRの場では当社グループのESGの取り組みが、どのように競争力や価値に転嫁されているかを説明し、企業としての持続可能性と発展性を評価していただきたいと伝えています。こうした対話活動の積み重ねが、価値創造ストーリーへの理解を促進し、昨今の市場評価の高まりにもつながっていると考えています。

IHIグループは、ESG経営を通じて「自然と技術が調和する社会」の実現を目指します。不確実性の高い時代だからこそ、創業以来変わらず社会課題解決に挑戦し続けることが私たちの使命です。今後も技術力を基盤にステークホルダーの皆さまと共に歩みながら、サステナブルな未来を築くための挑戦を続けてまいります。